

ユビキタス ネットワーク社会の実現に向けて

Creating a Ubiquitous Network Society

人が生活する家庭、オフィス、その他あらゆる空間の場の中で、インターネット・ブロードバンド情報の送受のため、いつでも、どこでもネットワークにつながる接続環境がいよいよ現実のものとなってきました。これらの動きを称して、「ユビキタス ネットワーク社会の実現」と呼んでいます。

人がどんな機器を使って何をしたいかは、その場のニーズに応じて異なり、今後も要求は多様化していくでしょう。これに対応してパソコン(PC)、携帯情報端末(PDA)、携帯電話などの情報機器の小型・高性能化、プリンタやディスプレイなどの高品位入出力機器、マウスのような超小型デバイス、更には新しいウェアラブルなワイヤレス コミュニケーション デバイスの実現など、人間の自由な活動を広げる夢と手段が広がります。

その情報の受け渡しには、無線 LAN や Bluetooth™(注)など近距離ワイヤレス技術が活用されます。ワイヤレスによる機器操作や情報送受の便利さは、家庭でのテレビやエアコンのリモコン操作、ブロードバンド回線と無線 LAN の組合せによるインターネット 接続など、一度体験するとその快適さから離れ難くなります。

更に、将来的には、高品質画像をリアルタイムで送る超高速ワイヤレス伝送技術や、音声・音楽・画像を交えたヒューマン インタフェース デバイスのワイヤレス化、制御用などの超小型・低コストなワイヤレス技術なども加わり、「いつでも、どこでも」つながるユビキタス ネットワーク社会の実現になくてはならない要素となります。

東芝は、このような社会を実現するための近距離ワイヤレス技術において、デバイス、ソフトウェア、アプリケーション化などの要素技術と、PC、PDA、サーバ、AV 機器などのワイヤレス関連商品技術を幅広く保有しています。また、これらとともに、電池寿命を気にしないで使える画期的容量の高性能小型燃料電池、身に着けたり変形可能な高画質有機 EL ディスプレイ、などのモバイル化技術と連携し、今後も更に魅力的な商品・サービスを提供していきます。

この特集では、このユビキタス ネットワーク社会を実現する近距離ワイヤレス技術のデバイス・ハードウェアからソフトウェア、機器設計、新概念商品など多岐にわたる技術・商品とそれらの技術動向に関して紹介させていただきます。ご一読いただければ幸いです。



伊藤 春彦
ITO Haruhiko

(注) Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の商標。